

# 冬物衣類をおうちで洗おう!!

コートやセーターなどの冬物衣類、もう片付けましたか？  
今はちょうど衣替えの季節、まだ春服出していない、なんて方もいらっしゃるかもしれませんね。  
冬物衣類は大きくてかさばり、量も多くて洗濯がめんどろ!そんな声もよく聞きます。  
来シーズンも気持ちよく着るために、ご自宅でできる正しい洗濯方法をご紹介します。

監修：新潟県クリーニング生活衛生同業組合 副理事長 大越幸一



## STEP1 おうちで洗えるのか見極める!!

洗濯表示マークを確認して判断します。

洋服の内側に付いている「洗濯表示マーク」のタグを探します。  
そこに書かれているマークの種類で、ご自宅で洗えるかどうか判断できます。

洗濯マークに×が付いている



### 洗える

水を使って洗えることを示しています。



### 洗えない

ドライクリーニングしかできません。



## STEP2 洗いましょう!!

中性洗剤を使う

水温は30~40°C  
(お風呂の残り湯OK)

洗濯ネットに必ず入れる

しぶとい汚れには...

皮脂などの油汚れがひどい場合は強力な洗剤を手作りして、歯ブラシなどで汚れをたたいてから洗ってください。

油汚れに

※オキシドールはドラッグストアで購入できます。

オキシドール 台所用洗剤 水  
漂白に **1 : 1 : 1**

	洗う	すすぐ	脱水
手洗い	<p>桶などに水をはり、洗剤を入れたら、洗濯物を入れ、やさしく数回押し洗いをして終了です。</p>	<p>桶の水をきれいな水に変えて、洗った時と同様に数回やさしく押し洗います。</p>	<p>手洗いの時も洗濯機にかけて脱水を行ってください。ただし、脱水はほんの短い時間30秒だけ。かけすぎると繊維がフェルト化したり、しわができた、型崩れをしてしまった、衣類をいためてしまいます。</p>
洗濯機	<p>洗濯機のドライコースで洗います。</p>	<p>ドライコースのまま、すすぎまで行ってください。</p>	

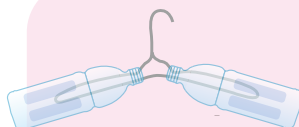
## STEP3 しまいましょう!!

風通しバッチリ! 特製ハンガー

しまう(保管)

干す

風通しのよい日陰で干してください。洗濯表示に指示がある場合はそれに従いましょう(平干しなど)。干すときは手でしわをきちんとのばすこと。しわが残るとれなくなってしまいます。



イラストを参考に作ってみてください。

針金のハンガーとペットボトルを使った特製ハンガーなら、干す時に下から風が通り、また肩の部分も立体的な曲線になるので型崩れやおかしなしわがつくことを防ぐことができます。

なるべく湿気のない、風通しのよいスペースに保管します。天然繊維(ウール・カシミアなど)や毛皮・革製品は呼吸をしているので特に湿気をきらいます。湿気があるとカビの原因にもなるので心配な場合は定期的な陰干しをするとよいでしょう。

### 洗濯 まめ知識

#### 新潟市の水は洗濯に適しています!

新潟市は金属であるカルシウムとマグネシウムが少ない軟水という水質です。この金属は洗剤の汚れを落とす力を障害してしまいます。新潟市の水は金属が少なく、汚れがたいへん落ちやすいといわれています。

#### もし、縮んでしまったら...

洋服が洗濯で縮んでしまったら、クリーニング店に相談してください。クリーニング店によってできる作業が異なるので、断られても、別のお店に行くこと直せる場合があります。

#### ドライクリーニングとは?

クリーニング店で行うドライクリーニングは、揮発性の溶剤と専用の洗剤を使って洗います。市販されている洗濯機のドライコースは水で洗うしくみですが、クリーニング店では水は使っていません。